

第七回浦昭二記念賞選考記

情報システム学会 浦昭二記念賞選定委員会委員長 杉野 隆

はじめに

今年度の浦昭二記念賞選考に当たっては、例年同様7月1日に全学会員に表彰案件の推薦を依頼し、9月15日に応募を締め切った。実践賞3件の推薦があったが、本委員会で審査の結果、実践賞2件を表彰することを決定した。昨年11月の理事会で審査結果が承認され、第18回全国大会・研究発表大会（11月26日）において表彰式が行われた。本稿では、表彰内容と委員長としての雑感を述べる。

第七回表彰内容

1. 表彰賞 実践賞

- a 表彰理由：テレワークで建設業の働き方と生産性を改善
- b 表彰対象者：向洋電機土木株式会社 CHO（最高人事責任者）兼広報部長 横澤昌典氏
- c 表彰対象者の概要：向洋電機土木株式会社（代表取締役：倉澤俊郎，本社：神奈川県横浜市南区，従業員34名）は、1965年設立の建設・工事会社である。2007年に同社に入社した横澤昌典氏は、2008年にテレワークを開始して以来、14年間中心的に活動している。
- d 表彰理由：横澤昌典氏は、育児や介護の問題を抱える従業員にとっても働きやすい職場づくりを目指した経営改革を推進し、その一環としてテレワーク制度を導入した。建設現場に設置される事務所をサテライトオフィスとして活用、また在宅勤務も可能にするなど、自動車での移動時間を大幅に削減して働き方を改革した。また、技術者の身体的・精神的な負担を軽減し、移動時間の短縮によって生まれた時間を資格取得のための勉強会に充てることによって資格保有者が増え、より大きな入札案件への挑戦や顧客からの指名増加が業績向上につながった。なお、同社は2015年11月に厚生労働省の「テレワーク推進企業等 厚生労働大臣表彰 個人表彰」、2018年6月に総務省の「テレワーク先駆者百選 総務大臣賞」を受賞。2019年3月には経済産業省の「新・ダイバーシティ経営企業100選」に選ばれている。

2. 表彰賞 実践賞

- a 表彰理由：50年の長きにわたって、日本企業に、パッケージ・ソフトウェアの活用を支援している
- b 表彰対象者：株式会社アシスト（代表取締役会長：ビル・トッテン，本社：東京都千代田区，従業員1,244名。授賞式には、代表取締役社長：大塚辰男氏が出席） 1972年に設立され、オーダーメイドかつスクラッチ開発が常識の日本ソフトウェア業界にあって、パッケージ・ソフトウェア市場を開拓した。日本のユーザのニーズに合うソフトウェア製品を海外・国内から多方面にわたって探索、評価を行い、日本語化を図り、かつレンタル制、保守契約の採用など、日本の中小企業が導入しやすいように配慮して販売してきた。同社は国内代理店としてパッケージ・インテグレータという独自の位置を築いている。
- c 表彰理由：
 - ① 日本の企業の自社開発一辺倒という体質から脱皮させ、パッケージを購入（バイ）する、適切なものがない場合は、エンドユーザを支援（ヘルプ）するツールを提供する、それも不可能であれば、自社開発（メイク）するための効率化ソフトツールを提供する「バイ、ヘルプ、メイク」という標語を

掲げ、わかりやすい企業ポリシーを確立して全国的に地道に営業し、アシストファンを増やした。これは、人月事業には参入せず、パッケージ販売事業に専一する経営方針に繋がる。

- ② 利用者主体のユーザ会「アシストユーザ会」を設立し、ユーザ企業同士が助け合う場（アシスト）としてソリューション研究会を中核に据えている。同社は、ベンダ中立な立場で、継続的に利用技術交流を図っている。
- ③ 日本のユーザ企業には、コンピュータメカ依存という弱点を抱えている。そこで、同社は、パッケージ販売という異質な商業形態で50年実直に事業を継続してきた。
- ④ 50年にわたる、日本企業ユーザへのパッケージ・ソフトウェアの効用の伝道、ユーザ会を通じた情報システム部門の人材育成への貢献は特筆すべきことである。

これまでの表彰実績

回	論文賞	特別賞	実践賞	功績賞	計
第7回(2022年)			2		2
第6回(2021年)			1		1
第5回(2020年)	1		1		2
第4回(2019年)					0
第3回(2018年)		1			1
第2回(2017年)		1		1	2
第1回(2016年)			2		2
計	1	2	6	1	10

注記 これまでの表彰内容については、<https://www.issj.net/gaiyou/urashouji-kinen.html> を参照ください。

雑感

全国大会が10年ぶりに新潟で開催され、会長による表彰状、賞金及び楯の手渡し授与、受賞者のスピーチ、記念写真撮影をリアルに滞りなく行えました。向洋電機土木株式会社横澤氏は全国大会には欠席されましたが、2週間前に同社において、砂田会長から表彰状などを直接授与されています。

今回の実践賞は、テレワーク実践活動及びベンダ中立なソフトウェアパッケージ販売活動が対象でした。向洋電機土木社は建設業の、そしてアシスト社はソフトウェアパッケージの販売とサポートという企業理念を忠実に実践されることによって成果を収めておられるところに、実践賞表彰の意義があったと思います。次回(2023年)には、論文賞を含め、会員の皆様からのさらに多くの表彰者の推薦をお願いします。

なお、横澤氏、大塚氏には、本年5月に開催予定のシンポジウムでご講演いただく予定です。御期待ください。

以上